（２）工事の時間的コストの低減（施策番号Ⅱ）

道路擁壁に鋼製補強土工法を活用し、工事期間を短縮

四国地方整備局 四国山地砂防工事事務所　平成１３年度アキヤ谷堰堤工事

【施策の概要】

従来、重力式･逆T擁壁等で計画していたものを鋼製補強土擁壁（外部拘束型）を活用し、工事期間を短縮して更に、コスト縮減を図りました。

コンクリート擁壁と異なる点は鋼製壁面材を組み立てて盛土を行うことにより施工できるので、施工効率が良く、約2ヶ月の工事期間の短縮が図れました。

また、鋼製補強土壁を採用することによって、壁前面の緑化で覆うことが可能で、自然との調和を推進する事ができます。

【施策のポイント】

･本工事において、鋼製補強土壁を工場にて製作することにより、現場での施工期間の短縮が図れます。今回の擁壁全体では施工期間が約2ヶ月短縮され、本箇所について早期完了が図れ、堰堤の効果も早期に発揮されます。

･本工事箇所は急峻･狭隘であり、従来のコンクリート擁壁での施工は非常に困難な箇所で、鋼製補強土壁を採用することにより擁壁部だけでは、２５．７％のコスト縮減が図れました。

･課題として、現場の施工にあたって壁面材部の転圧については細心の注意を払って行わないと盛土が不安定になり、沈下等が起こってしまう可能性があります。

【施策の実施状況･イメージ図】

《従来：現場打ちコンクリートによる施工》

基礎工 → 足場･型枠組立 → コンクリート打設 → 養生 → 型枠脱型･足場撤去

現場期間 ： １１６日

約2ヶ月の短縮

《今回：鋼製補強土壁による施工》

敷網材布設 → 壁面材組立 → 盛土転圧

繰返し

現場期間：約６０日

現場条件：壁平均高　H=4．5m
施工延長　L=７４m

図　鋼製擁壁現場状況